

# 全国地理教育学会 第21回例会

1 日時 2020年8月22日(土) 14:30～18:00

2 会場 セシオン杉並 視聴覚室(2F)

・東京都杉並区梅里1丁目22番32号(03-3317-6611:高円寺地域区民センター)

・東京メトロ丸の内線「東高円寺駅」徒歩5分、「新高円寺駅」徒歩7分

3 テーマ 「地理教育における地歴連携の理論と方法」

4 趣旨

地理学習で扱う地域は自然的、社会的、歴史的など様々な条件が関連しあって形成されている総合的な性格を持つ存在である。地域の性格は歴史的に形成されてきたものであるから、歴史的条件が重要性を持つことはいままでもなく、歴史的条件を無視して地域の性格を捉えることはできない。そこに地理と歴史とを関連させる地歴連携学習の必要性、重要性がある。新学習指導要領(平成29、30)の社会科及び地理歴史科においても、社会的諸事象の関連的考察、地理的諸事象の関連的考察が重視されているのは周知の通りである。しかしながら、地理教育において歴史的条件を具体的にどのように扱っていくのかという点については、まだ十分な体系的考察はなされてはおらず、そこで、本例会では「地理教育における地歴連携の理論と方法」をテーマとして取り上げることにした。

このテーマは、本学会の過去の例会、大会のシンポジウムにおいて取り上げられてきたし、学会誌『地理教育研究』にも多数の関連論文等が掲載されており、本学会の特色ある研究として追究してきたところのものでもある。これら既研究をふまえ、考察を更に深めて、地理教育における地歴連携の理論的実践的研究の体系化への一助としたい。

5 内容

<発表者>

・桑原正孝(日本女子大学附属豊明小学校)

「古くから残るものを通して地域の歴史的条件に目を向けるフィールドワーク(第3学年)」

・小澤裕行(犬山市立犬山北小学校<元愛知県扶桑町立扶桑北中学校>)

「中学校社会科における地歴連携授業の理論化の試みと具体的実践」

・山本 實(女子聖学院中学高等学校・非)

「地歴連携授業の開発 ―歴史科目からの試み―」

・山口幸男(群馬大学名誉教授)

「地歴連携授業の原理と方法」

<オーガナイザー>

伊藤 裕康(文教大学)

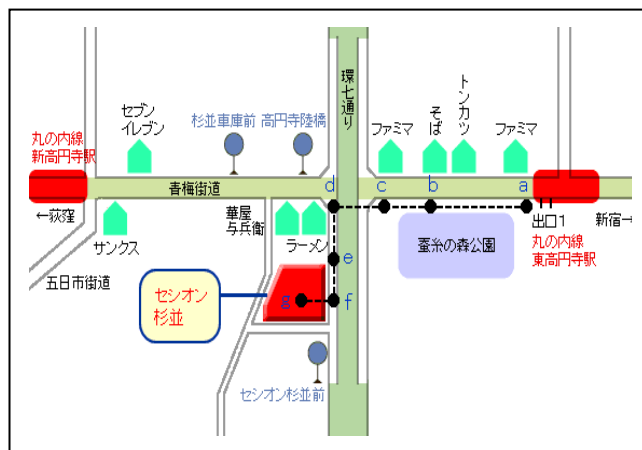
松岡 路秀(専修大学・非)

6 問い合わせ先

松岡 路秀(専修大学・非)

TEL・FAX: 046-231-9308

E-mail: [m.matsuoka@isc.senshu-u.ac.jp](mailto:m.matsuoka@isc.senshu-u.ac.jp)



※ 参加者は必ずマスクを付けてください。

※ コロナウイルス感染の状況によっては、予定変更、中止もあり得ることをご承知おきください。